

検 定 意 見 書

受理番号 104-79		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	写真	写真の標題 「ガルダランド」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
2	13	側注	6-10行右の側注「 $y=x$ について線対称」、 $y=-x$ について線対称 他に、87ページ1-2行「 $y=f(x)$ と x 軸について対称な曲線 $y=-f(x)$ 」、 91ページ20行右の側注「下半分は $y=-$	不正確である。 (式と図形を混同している。)	3-(1)	
			$\sqrt{1-x^2}$ 」、 151ページ左段11行「漸近線は $x=1$, $y=0$ 」、 $y=-1$ 」、左段 13行「漸近線は $x=-1$, $y=2$ 」、 $y=-1$ 」			
3	16	写真	写真の標題 「びわ湖バレイ」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	17	26 - 28	やってみよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な無理関数を超える学習)	2-(17)	
5	18	側注	27-28行右の側注 「上の図のように、 x と y が1対1に対応している」	生徒にとって理解し難い説明である。 (どのように対応しているのか分からない。)	3-(3)	
6	21	11	求める逆関数は $y=x^2$ □答 他に、20行「求める逆関数は $y=x^2+1$ □答」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (示されたものが最終的な答えであると誤解するおそれがある。)	3-(3)	
7	27		スマートフォンの加速度センサー (ページ全体)	生徒にとって理解し難い説明である。 (鉛直方向がどのように定められているのか分からない。)	3-(3)	
8	56	側注	13-14行右の側注 「 y は増加 $\leftrightarrow y' > 0$ y' は増加 $\leftrightarrow y'' > 0$ 」	生徒にとって理解し難い記号である。 (どのような意味で矢印の記号を用いているのか分からない。)	3-(3)	
9	56	16 - 17	「接線の傾き y' が増加 ↓ (y')' >0 」、 「接線の傾き y' が減少 ↓	不正確である。 (54ページ22行、23行と合わない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-79		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			$(y')' < 0$			
10	62	側注	8-10行右の側注 「 $f'(t)$ と $g'(t)$ は、平行移動できる。」 、「 $f'(t)$ と $g'(t)$ を2辺とする長方形」	生徒にとって理解し難い表現である。 (値を平行移動することや、辺にすることがどうい うことか分からない。)	3-(3)	
11	65	図	図4のグラフにおける縦軸の単位 「 m/s^3 」	生徒にとって理解し難い単位である。 (「 m/s^3 」の説明がないので分からない。)	3-(3)	
12	66	12	この回転体と同じ高さ	生徒にとって理解し難い表現である。 (回転体の高さの説明がないので分からない。)	3-(3)	
13	77	側注	18行右の側注 「2次式を1次式で表せる。」	生徒にとって理解し難い説明である。 (「2次式」, 「1次式」が何か分からない。)	3-(3)	
14	88	19	$f(x)$, $g(x)$ のグラフ	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなグラフか分からない。)	3-(3)	
15	93	6 - 7	点Pを含む底面に平行な平面	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (点Pが底面に含まれると誤解するおそれがある。)	3-(3)	
16	103	22 - 23	$x \geq 0$ の範囲で、2曲線 $y=x^2$, $y=(x-1)^2$, およびx軸と直線 $y=4$ で囲まれた図形	生徒にとって理解し難い図形である。 (囲まれた図形がどの部分を指しているのか分から ない。)	3-(3)	
17	104	9	直角三角形 他に、10行「直角三角形」	生徒にとって理解し難い表現である。 (図1, 2, 3との関係が分からない。)	3-(3)	
18	105	7	上の操作をくり返すことにより	生徒にとって理解し難い表現である。 (「上の操作」がどの操作なのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-79		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	132	23 - 27	$\sqrt{2+\sqrt{2+\sqrt{2+\sqrt{2+\sqrt{\dots}}}}=x}$ とすると $\sim=2$ なのです!	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜこれで実際に2に収束すると言えるのか分からない。)	3-(3)	
20	134	側注	11-13行右の側注 「複号同順」	生徒にとって理解し難い用語である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
21	138 - 139		課題学習① (全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (レンズの軸, 物体, スクリーンの位置関係が分からず, 数学的な考察ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
22	142	4 - 5	3章の「積分法」で学んだ, 立体の体積を求める方法を利用して	生徒にとって理解し難い表現である。 (「3章」で学んでいない方法が扱われているので分からない。)	3-(3)	
23	142 - 143	17 - 10	「1 求める体積の断面を考えよう」, 「2 三角形を積み重ねて, 立体の体積を求めてみよう」及び 「課題1」	生徒にとって理解し難い設定である。 (何をどのように設定しているのか分からない。)	3-(3)	
24	153	16 左	「■3節 微分法の応用」問3(1)の解答における「極大値はない」 他に, 左段20行「■3節 微分法の応用」問3(2)の解答における「極大値はない」	生徒にとって理解し難い解答である。 (55ページ例題1の解答との関係が分からない。)	3-(3)	
25	巻末3 -6		グラフ用紙	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (このグラフ用紙を利用できる設問において, グラフ用紙がこのページに掲載されていることが示されていない。)	2-(13)	
26	巻末9	11 - 12 左	$f'(x)$ の符号が $x=a$ の前後で負から正に変わるとき, $f(x)$ は $x=a$ で極小となる。	相互に矛盾している。 (左段12行下の図と不对応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-80		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	61	側注	16～17行右の側注	生徒にとって理解し難い表現である。 (側注の1行目があとの式変形にどのように関係しているのか分からない。)	3-(3)	
2	103	12	同様に、加速度はそれぞれ d^2x/dt^2 , d^2y/dt^2 で表され	生徒にとって理解し難い表現である。 (何の加速度なのか分からない。)	3-(3)	
3	108	27	1次の近似式以外の近似式について調べてみよう。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (1次の近似式を超える学習)	2-(17)	
4	111	側注	12～13行右の側注の「分数」	不正確である。	3-(1)	
5	122	4	次数を下げる	生徒にとって理解し難い表現である。 (何の次数なのか分からない。)	3-(3)	
6	127	13	積分区間 ほか14行の「積分区間」	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
7	166	4 左	問12(1)の解答の「 $x \neq 0$ 」, 「 $y \neq 3$ 」	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
8	172	グラフ	右上「1節の確認問題 p.95」の⑤(1)の解答のグラフの「-1」	生徒にとって理解し難い数値である。 (どこの数値を指すのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。